



古川 一美 議員



LGBTをめぐる諸問題について

問 ①性的少数者に対する差別やいじめは許されることではないが、学校でのLGBTに関する集団教育は、教育の中立性を確保し保護者の意向を踏まえて慎重に行うべき。所見を伺う。

②犯罪機会論では、男女の入口が同じジェンダーレストイレは、犯罪の温床になる可能性が指摘されている。公共施設のトイレの新設・改修の際には安全・安心を十分に確保すべき。トイレ

の在り方について所見を伺う。

答（教育長） ①児童生徒の個別の事情に応じた支援や、教師を対象に差別や偏見に対する研修を行い、サポート体制を充実させる。発達段階に応じて安心して学べる環境の整備に努め、慎重に対応していきたい。

答（教育部長） ②犯罪を未然に防ぎ、安心・安全にトイレを利用できることは大切である。新設の際は犯罪機会論に基づく考え方を参考に計画していきたい。

人にやさしい街づくりについて

問 ①移動スーパーの導入は検討したか。②古河駅のバス停にベンチを設置できないか。③身近な自治会館等へAED設置を

推進してはどうか。④十間通りの街路樹は植え替えしないのか。



答（市民部長） ②バス停周辺環境や維持管理の面から、設置はしていないが、バス事業者と連携し、調査研究したい。

答（福祉部長） ①令和3年度に検討したが、事業継続が期待できず事業化には至らなかった。

答（健康推進部長） ③効果的な活用のため、誰もが認識しやすい場所への設置が望ましいと考えている。救命率向上のため、使用方法の訓練に取り組みたい。

答（都市建設部長） ④視認性の確保等のため見合わせている。



秋庭 繁 議員

(仮称)新公会堂建設予定地の
変更と大堤地区開発等について

問 (仮称)古河市新公会堂の整備に向けた検討報告書や、令和5年7月に開催された第1回市民委員会での建設予定地が、10月に公表された「茨城県古河市基本計画」において突然変更されていた。この計画は誰が決めたのか。この開発予定地を不動産業者が地上げに動き、市議会議員の親族が先行取得しているが、利益誘導にあたるのではないか。住友商事株式会社がこ

の計画に入っているのは事実か。

答（企画政策部長） 本計画は、地域未来投資促進法に基づき国の同意を得て策定した。民間企業の用地売買の商談は、市は関与しておらず詳細は分からない。本事業を進めるに当たり、地権者の皆さまには、市から必ず連絡する旨を伝え、不安感の解消に努めている。



関東東北豪雨で冠水した建設予定地

放課後児童クラブの現状と課題
について

問 運営形態の異なる放課後児童クラブの取り組みの違いは。

答（教育部長） どの児童クラブも子どもが放課後を安全に過ごせるよう見守りを行い、遊びや宿題の時間を設けている。

古河市花火大会実行委員会の公
印と通帳の紛失について

問 古河警察から遺失物の連絡までの6カ月とその後の対応は。

答（市長） 多くの方々にご心配、ご迷惑をお掛けしたことについて、市役所を代表し深くお詫びを申し上げます。

答（産業部長） 10月4日に古河警察署から連絡を受け判明した。金銭的損失は無いが、被害届を提出し捜査中である。最終利用日の4月6日以降は、保管状態が不明確であった。改めて管理の見直しを行っている。